

【行政の感染症対策】

厚生労働省や横浜市など、行政の「感染症対策ホームページ」によりますと、「3/13より、屋内を含め、マスクの着用は個人の判断が基本となり、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断を尊重して下さい」となっています。しかし同時に「感染拡大防止対策として、マスクの着用が効果的である場合などについてはマスクの着用を推奨します。周囲の方に感染を広げないために、また、ご自身を感染から守るためにマスクが効果的です」とあり、マスク着用推奨の以下のようなケースが記されています。

- 医療機関（受診含む）や、高齢者施設などを訪問する時
- 通勤ラッシュ時など、混雑した電車やバスに乗る時
- 重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時

【当教会の感染症対策・マスク着用に関して】

当教会では、新型コロナウイルス感染拡大当初より今日まで、教会所属医師団の継続的指導の下、皆様に「安全と安心」をお届けするべく、最大限の感染防止対策を選択実行してまいりました。今後もこの基本の方針に変更はありません。3/13以降は、当教会でもマスク着用は個人の判断に委ね、教会より着脱を要請することはいたしません。しかしながら、教会には高齢者や感染症重症化リスクの高い方々もおられ、会衆賛美もありますゆえ、どなたも安心できる教会として、マスクの着用及び入室時の手指消毒をお勧めします。体調の優れない方や、普段より熱の高い方は、これまで通りご自宅でのネット礼拝として下さい。今後再び急激な感染拡大や地域的クラスター発生の際には、感染防止対策を強化する可能性もありますので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。

横浜カルバリーチャペル